



こんな姿を目指します

<学校の姿>

- ① 児童一人一人が大切にされ、生き生きと活動する学校
- ② 歌声が響き、清潔で明るく笑顔のあふれる学校
- ③ 安全・安心な学校環境に努め、家庭や地域に信頼される学校

<学級の姿>

- ① 友達の良さを認めあう温かい学級（良いことには拍手・間違いを笑わない・話を聴きあう）
- ② 遊びと勉強のけじめがついている学級
- ③ 目標に向かって、リーダーを中心に、みんなが頑張る学級

チーム干潟

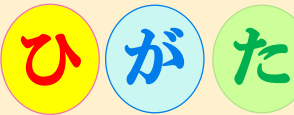
笑顔と感動

<教師の姿>

- ① 愛情豊かで、厳しさと温かさを兼ね備えた教師
- ② 健康で明るく、教育への情熱と使命感を持つ教師
- ③ 教師力の向上に努め、児童や保護者、同僚から信頼される教師

<願う家庭の姿>

- ① 家族の時間を大切にし、学校の話題を笑顔で語り合う家庭
- ② 家族の一員としてお互いを尊重し、積極的に協働できる家庭
- ③ 子どもを信頼し、依存から自立への成長を見守れる家庭



ひらめく

がまんぶよく

たくましく

確かな学力と思考・判断・表現力のある干潟っ子

豊かな心と明るい社会性のある干潟っ子

やりぬく意志と健やかで体力のある干潟っ子



地域に学び、地域と共に歩む干潟小学校

<学校経営の基本方針>

- ① 法に則した公教育を推進する。憲法、各法令・学習指導要領を遵守し、県及び市の学校教育指導の指針に従って指導する。
- ② 児童一人一人の良さや可能性を見だし、認め、褒めることを大切にし、個性の伸長を図り、「生きる力」を育む。
- ③ 全職員が学校経営に参画し、創意工夫と協働体制により、機動力のある組織をつくり、学校教育目標の具現化を目指す。
- ④ 組織マネジメントの視点から、学校評価を効果的に活用し、PDCAのサイクルによる学校経営の継続的な改善に努める。
- ⑤ 地域との連携を通して、魅力あふれる学校づくりを推進する。

<児童への指導・共通キーワード>

- ① 「干潟スタンダード」を徹底する。
 落ち着いた言動がとれる子
(元気なあいさつと返事)
- ② 危機管理を徹底する。
 (交通事故防止、安全意識を高める廊下歩行)
- ③ 1日1回は、汗をかく。
 (徒歩登下校・外遊び・歌声・掃除等)
- ④ めあてをもって読書をする。
- ⑤ 言語環境を整える。

項目	具体策
確かな学力の育成	① 授業の充実 ■「実感を伴った理解」ができるようにする。 「そうか！わかった。」 ■ <u>主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。</u> ・習得・活用・探究の学習プロセスを意識した授業構成 ・体験的な活動・交流活動・作品づくり活動等の工夫 ・ユニバーサルデザインの視点の導入、学習意欲の喚起 ※干潟授業づくり7点セット ② 学習習慣の確立（家庭学習の徹底と検証の実施） 1年20分 2年30分 3年40分 4年50分 5年60分 6年70分 ③ 研究の推進（授業改善・チャレンジタイムの工夫） 研究主題 主体的に学び、「思考・表現」する力をつける国語学習 ～どの子も『学びたい』と思える授業づくりを目指して～
特別支援教育の視点を取り入れた生徒指導（児童理解）の充実	① 個に寄り添った生徒指導 ・確かな児童理解 （ニーズの把握・的確なアセスメント） ・自己決定の場の重視 ② 早期発見・早期対応の推進（気づきの力を磨く） ・教育相談体制の充実（ハイパーQJの実施と活用） ③ チーム支援の充実（保護者も支援者の一人） ・特別支援教育コーディネーターの複数指名 ・一貫性のある、計画的、継続的な支援と記録の蓄積 ・個別の教育支援計画の作成（合理的配慮の記載）
家庭・地域とともに協働する開かれた学校づくり	① PTA・近隣の学校（保幼・高等学校）や地域の関係団体との協働（学校評議員会や学校保健委員会・青少年育成会議の開催・干潟地区自主防災会・学校支援ボランティアとの連携等） ② 地域交流活動の実施（きずな大会、バザー等） ③ 教育情報の発信と成果の共有（学校評価の実施と公表、学校公開、各種たより、HP、スクールメール等、多様なツールを活用）